令和2年度
第5次上里町総合振興計画
前期基本計画
効果検証シート

目次

基本理念1. 健やかで安心なまち

基本目標1. 保健・医療の充実	5
基本目標2. 地域福祉の充実	6
基本目標3. 子ども・子育て支援の充実	7
基本目標4. 高齢者福祉・介護の充実	9
基本目標5. 障害者(児)福祉の充実	11

基本理念2. 快適で安全なまち

基本目標6. 都市基盤の充実	15
基本目標7. 情報基盤・発信力の強化	16
基本目標8. 環境保全の推進	17
基本目標9. 快適な住環境の確保	18
基本目標10. 消防・防災の強化	20
基本目標11. 防犯・交通安全対策の強化	21

基本理念3. 実り豊かなまち

基本目標12. 農業の振興	25
基本目標13. 商工業の振興	26
基本目標14. 観光・交流のまちづくりの推進	27
基本目標15. 雇用対策の推進	28

基本理念4. 人が輝くまち

基本目標16. 学校教育の充実	31
基本目標17. 生涯学習の充実	32
基本目標18. 生涯スポーツの振興	34

基本理念5. みんなで支えあうまち

基本目標19. 住民自治の振興	37
基本目標20. 健全な行財政運営の推進	39

基本理念1. 健やかで安心なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会 評価	委員会意見
1. 保健・医療の充実	1-1	健康増進事業等の推進(総合戦略基本目標4-2)	健康保険課	検診事業(胃・大腸・肺・子宮・乳・前立腺がん、歯周疾患、骨粗しょう症、肝炎等)	②概ね順調 がん検診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり子宮頸がん検診以外は減少した。しかし精密検査受診率は、すべての検診において大幅に向上し目標値を大きく達成できた。 健康長寿サポーターについては、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため実施なし。 いきいきスタンプラリーは、ICTを利用した健幸マイレージ事業へバージョンアップし実施した。着実に参加登録者数は増加している。 健康づくり推進総合計画中間評価を実施し、目標達成6項目と改善傾向にあった14項目を合わせて、約60%が改善傾向であった。 高齢者インフルエンザワクチンは、新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されたため、自己防衛意識が高まり、例年より接種率が向上した。	引き続きがん検診を実施し、精検受診勧奨も継続する。 健幸マイレージ事業を実施し、健康づくりを推進する。 健康づくり推進総合計画の目標未達成項目については、取組について、関係部署と共有し、取組内容について検討する。	②概ね順調	上里町健康づくり推進総合計画の中間評価やがん検診受診率については、数値目標の達成に至らなかったが、施策として効果があった。計画の検証を行い、今後の健康増進事業の推進に活かすこと。	
				健康教室					
				健康相談					
				食育の推進					
				人材の育成(各種サポーター)					
				いきいきスタンプラリー事業					
	高齢者予防接種事業(インフルエンザ、肺炎球菌)								
	1-2	国民健康保険等の健全運営	健康保険課	国民健康保険の運営	②概ね順調 データヘルス計画の中間評価を行った。国保被保険者証と高齢受給者証の一体化を行い、被保険者の利便性が向上した。 特定健診等については、新型コロナウイルス感染症による受診機会減少の影響を受け、受診率が低下した。 糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施し、新規患者数は前年に引き続き0人を維持した。また3名に保健指導を行った。【後期】介護予防事業の機会が減り、参加を促すことはできなかった。	特定健診・保健指導については、引き続き適切な勧奨を行い、受診率向上を図る。 人間ドック等の受診の支援も並行して行う。 糖尿病性腎症重症化予防対策事業についても必要な勧奨・指導に努める。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続し、施策が目的を達成するため検診対象を絞り込んだ受診勧奨など取り組み内容を工夫すること。	
				後期高齢者医療事務事業					
				特定健康診査・特定保健指導事業					
	国民生活習慣病重症化予防対策事業								
	1-3	地域医療の確保・強化	健康保険課	負担金等の拠出(休日急患診療所、病院群輪番制、在宅当番医制、小児救急、県外小児後方支援病院、救命救急センター、年末年始休日急患歯科診療)	②概ね順調 救急医療のため、各運営事業に対し負担金等の拠出を継続した。 町で開催した災害対策に関する研修に参加した。 災害時の医療救護の体制整備	引き続き、救急医療確保のため、各運営事業に負担金等の拠出を継続する。 新型コロナウイルス等の感染症対策として、国・県との同時訓練も関係機関と連携を実施していく。 災害時の医療救護の体制整備に備えるため、研修・訓練等に積極的に参加しスキルアップを図る。平時より、防災担当課と連携を図り、関係機関との体制づくりに努める。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
新型インフルエンザ等対策の推進									
災害時の医療救護の体制整備									
くらし安全課	災害時の医療救護の体制整備	①順調	「埼玉県北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議」などの場において、平時より関係機関との連携を図っている。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続すること。				

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	数値目標									備考
				平成27年度計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度				
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度		
①		上里町健康づくり推進総合計画の中間評価において目標を達成した数値目標項目の割合	80%	-	80%(平成33年度)	実績値なし	80%(平成33年度)	実績値なし(令和2年度中間評価実施)	80%	18.2%(令和2年度中間評価実施時)	③未達成(70%未満)		
②	1-1	健康寿命	男性17.37歳 女性20.89歳	男性:17.24歳 女性20.76歳(平成26年)	男性17.37歳 女性20.89歳(平成31年度目標)	男:17.70歳 女:21.17歳(平成28年実績)	男性17.37歳 女性20.89歳(平成31年度目標)	男:17.96歳 女:20.75歳(平成29年実績)	男性17.37歳 女性20.89歳	男:17.69歳 女:20.80歳(平成30年実績)	②ほぼ達成(70%以上~100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 男性83.07歳(18.07歳)、女性85.89歳(20.89歳)	
③	1-1	健康長寿サポーターの人数	364人	144人	314人	350人	364人	369人	364人	369人	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標が変更	
④	1-1	がん検診受診率	50%	胃:8.1%大腸:15.8% 肺:21.2% 子宮:39.7%乳:41.9%	50%(平成33年度)	胃11.0%、大腸14.6%、肺20.2%、子宮40.2%、乳36.8%	50%(平成33年度)	胃10.7%、大腸14.4%、肺19.8%、子宮43.2%、乳40.6%	胃、大腸、肺40%、子宮、乳50%	胃8.7%、大腸11.7%、肺7.9%、子宮41.7%、乳35.4%	③未達成(70%未満)		
⑤	1-1	がん検診精密検査受診率	胃・大腸・子宮:70%以上 乳:80%以上	胃:62.5% 大腸:71.5% 子宮:35% 乳:63.9%(平成26年度)	胃・大腸・子宮70%以上、乳80%以上(平成33年度)	(1次検診H29) 胃81.8%、大腸86.2%、肺66.7%、子宮64.1%、乳86.3%	胃・大腸・子宮70%以上、乳80%以上(平成33年度)	(1次検診H30) 胃86.7%、大腸76.8%、肺82.8%、子宮69.2%、乳89.9%	胃・大腸・子宮70%以上、乳80%以上	胃87.0%、大腸93.3%、肺87.5%、子宮78.4%、乳97.0%	①大きく達成(100%以上)		
⑥	1-2	特定健康診査受診率	60%	34.5%(平成26年度)	53.5%	39.3%	60.0%	42.0%	60.0%	34.0%	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標が変更 目標値:「たまる健★幸マイレージ」参加者 800人	
⑦	1-2	糖尿病性腎症重症化患者数	1人	4人(平成26年度)	1人	0人	1人	0人	1人	0人	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標	

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念1 健やかで安心なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度の実施計画	委員会評価	委員会意見
2. 地域福祉の充実	2-1	権利擁護の推進	高齢者いきいき課	虐待等防止ネットワークの運営(高齢者・障害者・子ども・配偶者等暴力)	②概ね順調	高齢者虐待防止、成年後見制度の利用促進のため、広報で情報提供している。また、後見制度に関する相談日を毎週木曜日に相談日を設けている。児玉郡市共同の電話相談窓口も運用。	引き続き、虐待防止・成年後見利用促進について広報周知を実施する。児玉郡市共同の電話相談窓口も実施。	②概ね順調	成年後見審判町長申立の利用件数については、目標値の達成に至っていないが、相談を受けた際の実施体制については準備されている。また、その他の取組については、施策として効果があつたことから、評価を概ね順調とする。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。また、新型コロナウイルス感染症による影響が収まった場合の事業再開に向け準備を進めること。
				成年後見制度利用支援事業		権利擁護関係の講演会については、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できていない。			
			町民福祉課	虐待等防止ネットワークの運営(高齢者・障害者・子ども・配偶者等暴力)	①順調	虐待防止については、情報提供があつたのち、迅速に対応をし、施設虐待においては、県の指導を受けながら実態調査を適切に実施した。	虐待防止については、情報提供があれば、迅速に対応しながら、関係各課と審議の上、必要に応じて速やかな町長申し立てを行う。又、成年後見に関する無料電話相談事業「後見ホットライン」を本庄・児玉郡市で共同実施をした。		
		成年後見制度利用支援事業		又、成年後見に関する無料電話相談事業「後見ホットライン」を本庄・児玉郡市で共同実施をした。		又、成年後見に関する無料電話相談事業については引き続き本庄・児玉郡市にて共同実施をする。			
		子育て共生課	虐待等防止ネットワークの運営(高齢者・障害者・子ども・配偶者等暴力)	①順調	要保護児童対策地域協議会(実務担当者会議、個別会議)を開催し、要保護児童の早期発見、適切な保護及び支援を行った。	児童福祉法に基づき、要保護児童対策地域協議会を設置し、関係機関との連携を図り要保護児童の早期発見、適切な保護及び支援に努める。	児童福祉法に基づき、要保護児童対策地域協議会を設置し、関係機関との連携を図り要保護児童の早期発見、適切な保護及び支援に努める。		
					社会福祉協議会支援事業	民生委員・児童委員協議会について、活動支援の為に備品購入等を実施した。	民生委員・児童委員の負担軽減を目指すと共に、活動支援の為に備品購入を行う。		
	2-2	地域福祉活動の活性化(総合戦略基本目標4-2)	町民福祉課	地域福祉計画の策定・推進	②概ね順調	ふれあいサロン活動については、新型コロナウイルス感染症対策の為に、活動を自粛したが、コロナ禍における活動方法等について、各サロン代表者による会議を実施した。	地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査を実施する。	②概ね順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。また、新型コロナウイルス感染症の状況下においても事業遂行に向け協議するなど評価できる。
				ふれあいサロン活動の促進(社協)		ふれあいサロン活動については、開催方法の協議を行うと共に、新規サロン開設への呼びかけを行い、サロン数の増加を図る。	地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査を実施する。		
				自殺予防対策の推進(ゲートキーパーの養成、こころの体温計事業)		こころの体温計事業について、計画に沿った事業を実施した。	計画の推進の為に、関係機関でのネットワークの強化を図りながら、各種自殺対策に取り組んでいく。		
	2-3	生活支援の推進	町民福祉課	自殺予防対策の推進(ゲートキーパーの養成、こころの体温計事業)	②概ね順調	ゲートキーパー養成講座については、新型コロナウイルス感染症対策の為に中止とした。	計画の推進の為に、関係機関でのネットワークの強化を図りながら、各種自殺対策に取り組んでいく。	②概ね順調	今後も計画に沿って事業を継続し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。また、新型コロナウイルス感染症による影響が収まった場合の事業再開に向け準備を進めること。
				国民年金の啓発・相談の推進		健康保険課	国民年金事務事業		
	2-4	国民年金の啓発・相談の推進	健康保険課	国民年金事務事業	①順調	年金保険料が未納とならないよう、各種届出の案内や免除・納付猶予制度の利用などに関する説明を適切に行った。	資格取得や変更に関する手続きや、死亡や障害による支給制度の周知、また簡便な納付方法を推奨するなど、被保険者の権利や義務について普及啓発に努める。	①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
趣旨普及事業				趣旨普及事業		趣旨普及事業			
2-5				低所得者層への支援の充実		町民福祉課	生活福祉資金貸付(社協)		
	生活困窮者自立支援事業(県)	また、生活困窮者についての相談に応じ、困っていること等を丁寧に聞き取り、自立相談支援機関等との連携の上、相談者に合った支援が出来るように対応した。	また、生活困窮者についての相談に応じ、困っていること等を丁寧に聞き取り、自立相談支援機関等との連携の上、相談者に合った支援が出来るように対応した。						
2-5	低所得者層への支援の充実	子育て共生課	母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付(県)	①順調	県と連携し、貸付の必要な世帯に情報提供をした。	県と連携し、貸付の必要な世帯に情報提供をする。	①順調	今後も計画に沿って事業を継続し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
			子育て共生課		母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付(県)	県と連携し、貸付の必要な世帯に情報提供をした。			県と連携し、貸付の必要な世帯に情報提供をする。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時	数値目標							備考	
					現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			
						年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値		達成度
①	2-1	成年後見審判町長申立の利用件数	4件	0件	2件	1件(町民福祉課)	2件	0件	2件	0件	③未達成(70%未満)		
②	2-2	ボランティア活動への参加割合	25%	21.5%	参加割合22.0%	アンケート未実施	参加割合22.5%	19.1%	参加割合23.5%	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠: まちづくりアンケート-R3はアンケート実施により実績値ありとなる。	
③	2-2	助けあいの仕組みができていくと感じる人の割合	35%	29.8%	35%(平成33年度)	アンケート未実施	35.0%	35.4%	35.0%	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠: まちづくりアンケート-R3はアンケート実施により実績値ありとなる。	
④	2-2	地域支えあいマップ登録者数	累計700人	595人(平成26年度)	累計675人	累計563人	累計700人	累計655人	累計648人	累計613人	②ほぼ達成(70%以上~100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦の目標値: 令和6年度600人	

令和2年度

総合振興計画実施計画 効果検証シート

基本理念1 健やかで安心なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度の実施計画	委員会評価	委員会意見
3. 子ども・子育て支援の充実	3-1	母子保健事業等の推進 (総合戦略基本目標3-②)	健康保険課	不妊治療への支援	①順調	不妊治療への助成件数、3歳6か月児健診、5歳児健康相談の受診率について、令和2年度は目標をほぼ達成できた。 また、子育て世代包括支援センターとして、子育て共生課と連携を取りながら情報共有し、ケース対応をすることができた。同センターの相談窓口を周知するため、乳児健診において利用者支援相談員がPRし、乳児健診で周知用ウェットティッシュを配布している。	引き続き、不妊治療への支援、赤ちゃん訪問や乳幼児健診等の母子保健事業を推進していく。 子育て世代包括支援センターとしての体制や事業についても前年度実績を反映し、今後の事業を展開していく。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				妊婦の健康支援(妊婦歯科検診等)					
				家庭訪問・赤ちゃん全戸訪問					
				乳幼児健診・2歳6か月児歯科検診等					
				予防接種					
				教室事業(離乳食教室、親子教室等)					
				相談事業(赤ちゃん相談、発達相談、発育発達全般相談、ことばの相談、うごきの相談、5歳児健康相談等)					
	3-2	就学前教育・保育の充実	子育て共生課	公立保育所の運営	②概ね順調	令和2年度策定の「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に係る取り組みを実施した。 令和2年4月に空の杜保育園も開所し、町内の子育て支援の一層の充実に努めた。	「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に係る取り組みを実施する。	②概ね順調	4月当初においては保育園待機児童がいない状況ではあるが、年度途中では待機児童が生じている状況にあるため、保育所待機児童数に対する目標を達成するためにも、「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づいた、子育て支援に係る取り組みを着実に実施すること。
				私立保育所・幼稚園の運営支援					
				子ども・子育て支援給付					
3-2	就学前教育・保育の充実	学校教育課	各種保育サービス	①順調	補助金交付 2幼稚園 各46,000円	補助金交付 2幼稚園 各46,000円	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
			民間施設の人材確保等への支援						
			公立保育所の建設						
			認可保育所、認定こども園の設置						

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度			
①	3-1	合計特殊出生率	1.25	1.05 (平成26年)	1.25	1.10	1.25	1.10	1.25	集計中	—	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度1.25
②	3-1	不妊治療助成件数	累計99件 H27~31: 年13件、 R2.3:年 30件	0件 (平成26年度)	年13件	年13件	年13件	年38件	年30件	年17件 (累計77件)	③未達成 (70%未 満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和2~6年度の5年間合計 150件
③	3-2	保育所待機児童数	0人	20人 (平成26年度)	5人	11人	0人	7人	0人	8人	③未達成 (70%未 満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度0人
④	3-3	児童クラブ待機児童数	0人	26人 (平成26年度)	5人	5人	0人	5人	0人	2人	③未達成 (70%未 満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度0人
⑤	3-3	地域子育て支援拠点利用者数	4,000人	2,178人 (平成26年度)	3,500人	1,304人	4,000人	1,338人	4,000人	1,330人	③未達成 (70%未 満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度2,830人
⑥	3-1	3歳6か月児健康診査受診率	94%	90.6%	94% (平成33年度)	94.4%	94.0%	97.3%	94.0%	90.9%	②ほぼ達成 (70%以上 100%未 満)	
⑦	3-1	5歳児健康相談受診率	88%	85.8% (平成26年度)	88.0%	94.9%	88.0%	89.3%	88.0%	96.5%	①大きく達成 (100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 減少を抑え現在の水準(94%)を維持

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度の実施計画	委員会評価	委員会意見
3. 子ども・子育て支援の充実	3-3	子育て支援の充実(総合戦略基本目標3-3)	子育て共生課	児童館の運営	②概ね順調	令和2年度策定の「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に係る取り組みを実施した。	「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に係る取り組みを実施する。	②概ね順調	児童クラブ待機児童数については目標達成には至っていないが、減少しているため一定の成果があったと評価できる。「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づき安心して子育てができる環境の実現に向けて事業を進めること。
				放課後児童クラブの運営・運営支援					
				地域子ども・子育て支援事業(子育て世代包括支援センター、地域子育て支援拠点、ファミリーサポートセンター等)					
				各種経済的支援(児童手当等)					
				子育て支援ネットワークづくりの支援(「子どもと一緒に遊び隊」の育成等)					
				児童虐待等要保護児童対策					
青少年健全育成活動の推進									
3. 子ども・子育て支援の充実	3-4	ひとり親家庭への支援の充実	子育て共生課	放課後子ども教室事業	②概ね順調	放課後子ども教室のひっこ教室は、子ども達が放課後に異年齢の仲間と安全かつ安心して学習や体験活動、様々な遊びなどを通して交流を図れる居場所づくりを実施することができた。新型コロナウイルス感染症対策として、1学期、3学期は中止となったが2学期は実施することができた。	引き続き子ども達が放課後に異年齢の仲間と安全かつ安心して学習や体験活動、様々な遊びなどを通して交流を図れる居場所づくりを実施するのびっ子教室等放課後子ども教室事業を実施する。	②概ね順調	今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				子どもの人権研修会		様々な人権問題の早期解決を図るために、各小中学校PTAを中心に子どもの人権研修会を開催することができた。(新型コロナウイルス感染症対策で開催は一部の小学校)	引き続き様々な人権問題の早期解決を図るために、各小中学校PTAを中心に子どもの人権研修会を開催する。		
3. 子ども・子育て支援の充実	3-4	ひとり親家庭への支援の充実	子育て共生課	各種経済的支援(ひとり親家庭等医療費、児童扶養手当、保育料減額等)	①順調	国等の定める基準に基づき、児童扶養手当等の適正な支給に努めた。また、保育所入所選考や保育料の軽減措置などで優遇を図った。	該当者の状況の把握に努め、児童扶養手当等各種手当の適正な支給、保育所等入所時の選考優遇など継続して取り組む。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				保育所入所選考等でのポイント加算、町営住宅入居所得制限の緩和					
3. 子ども・子育て支援の充実	3-5	少子化対策の推進	総合政策課	出会い・婚活サポート事業の展開	②概ね順調	令和2年度は1件の婚活イベント「写真撮影会&占い鑑定会」を主催し開催した。参加者の満足度は97%と高かった。新型コロナウイルス感染症の影響で、募集定員が30名と少なかったこともあり、町民の参加は1名であった。北部地域地方創生推進協議会企画市町村の婚活イベントに対し、支援事業として補助金の交付を行った。また、SAITAMA出会いサポートセンターの広報を広報などで行った結果、上里町民の登録者数は男性12人から17人に、女性6人から9人となった。	県北7市町村の共同による婚活事業を継続実施する。また、上里町民の婚活イベント参加向上のために、効果的な広報手段等についても検討していく。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。また、婚活イベントについては、新型コロナウイルス感染症による影響が収まった際に、上里町民の参加者が増えるよう準備を進めること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
④	3-3	児童クラブ待機児童数	0人	26人(平成26年度)	5人	5人	0人	5人	0人	2人	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度0人
⑤	3-3	地域子育て支援拠点利用者数	4,000人	2,178人(平成26年度)	3,500人	1,304人	4,000人	1,338人	4,000人	1,330人	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度2,830人

基本理念1 健やかで安心なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度の実施計画	委員会評価	委員会意見
4. 高齢者福祉・介護の充実	4-1	介護予防の推進(総合戦略基本目標4-2)	高齢者いきいき課	介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防ケアマネジメント、訪問型サービス、通所型サービス、「こむぎっちょよつから健康体操」の普及、「コグニサイズ」の普及、元気ちよつからサポーター(介護予防サポーター)の養成等)	②概ね順調	介護予防ケアマネジメントを町直営の地域包括支援センターだけでなく居宅介護支援事業所に委託することで、必要な方に適切にサービスを提供することができた。	介護予防日常生活支援総合事業の継続	②概ね順調	数値目標にもある、「こむぎっちょよつから健康体操」については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、目標達成には至っていないが近年の実績では着実に増加している状況である。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				サービス提供の際には、高齢者の個別の状況を把握し、状況に応じて、総合事業の通所型サービス(従来の通所介護、基準を緩和し交流を目的としたサービス、短期集中通所サービス)、訪問型サービス(従来の訪問介護、基準を緩和した家事支援サービス、短期集中訪問サービス)や一般介護予防事業(こむぎっちょよつから健康体操)などの多様なサービスを組み合わせ活用することで自立支援を推進した。	介護予防日常生活支援総合事業の継続 こむぎっちょよつから健康体操の立ち上げ及び継続支援 介護予防サポーター(元気ちよつからサポーター)の養成及びフォローアップ				
				住民主体の日中の居場所づくりの支援	②概ね順調	こむぎっちょよつから健康体操の普及については、新型コロナウイルス感染症のため新規の立ち上げ支援やサポーター養成講座等は実施できなかったが、リーフレットや町のホームページ、広報などを活用して体操や介護予防の周知啓発を図った。既に地域で取り組まれているこむぎっちょよつから健康体操は、新型コロナウイルス感染症のため開催を自粛したが、緊急事態宣言の解除後14/52行政区(11/28か所)が体操を再開した。体操を再開した地区には保健師及び理学療法士が継続支援として訪問した。	介護関係と連携した高齢者の介護予防の展開 介護認定者のうち、軽度認定者の状況を分析		
	4-2	地域包括ケアの推進	高齢者いきいき課	地域包括支援センター運営事業 地域ケア会議の開催 在宅医療・介護連携推進事業 認知症総合支援事業 生活支援体制整備事業 高齢者見守りネットワークの構築	②概ね順調	高齢になっても暮らしやすい町づくり「地域包括ケアの推進」を目指して左記の各事業を実施した。 地域ケア個別会議を4回開催し8事例について検討を行った。個別会議を通して、個人の自立支援を図ったほか、参加者の資質向上や関係者のネットワークの構築を推進した。 また、地域ケア推進会議を開催し、通所介護における課題を検討した。課題の解決までには至っていないが、ケアマネジャー及び通所介護事業所で通所介護における課題を共有することで今後の課題解決に向けた取り組みにつなげた。 在宅医療・介護連携推進事業では、本庄市、美里町、神川町及び本庄市児玉郡医師会とで共同で実施し、広域での在宅医療・介護連携を推進した。 認知症支援は初期集中支援チームをはじめ、早期把握・支援する取組を実施。認知症本人の支援はもとより家族の負担軽減も図った。 生活支援体制整備事業では賀美小学校地区の支え合い組織立ち上げのため、地域住民で構成された企画委員会を中心に話し合いを進めた。その他の地域住民には情報チラシを作成・配布し周知を図った。 高齢者見守りネットワーク会議を開催。警察・消防や見守り協定を締結している民間企業へ出席を依頼し、地域の見守り体制の強化を図った。	高齢になっても暮らしやすい町づくり「地域包括ケアの推進」について、今までの取組みを継続する。 賀美小地区の支え合い組織は、R3年度中に活動開始見込み。それに伴い地域支え合いフォーラムを開催し、活動についての地域への周知を図る。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時		平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度		
①		高齢者福祉・介護分野の満足度	30%	22.6%	30%(平成33年度)	アンケート未実施	30.0%	20.5%	30.0%	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠:まちづくりアンケート R3はアンケート実施により実績値ありとなる。	
②		自分自身が健康だと感じる高齢者(60歳以上)の割合	80%	74.0%	80%(平成33年度)	アンケート未実施	80.0%	70.2%	80.0%	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠:まちづくりアンケート R3はアンケート実施により実績値ありとなる。	
③	4-2	地域包括支援センターの数	累計2か所(ランチ含む)	累計1か所	累計1か所	累計1か所	累計1か所	累計1か所	累計1か所	累計1か所	①大きく達成(100%以上)	人口2~3万人に1か所が目安	
④	4-2	介護保険給付費に占める居宅サービス費の割合	56.28%	58.0%	59.1%	53.0%	59.4%	54.8%	56.3%	54.9%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	0	
⑤	4-2	要介護等認定者のうち軽度者の割合(事業対象者含む)	56.00%	28.3%	36.4%	53.5%	36.6%	50.7%	56.0%	50.0%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の目標	
⑥	4-1	元気ちよつからサポーターの数	累計270人	-	累計140人	累計221人	累計150人	累計233人	累計270人	累計233人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標が変更:こむぎっちょよつから体操の参加者数 432人	
⑦	4-1	こむぎっちょよつから健康体操を実行した行政区	累計30行政区	-	18行政区	累計48行政区(累計25か所)	累計20行政区(累計28か所)	累計52行政区(累計28か所)	累計30行政区(累計11か所)	累計14行政区(累計11か所)	③未達成(70%未満)	新型コロナウイルス感染症のため、令和2年度中に体操を実施したのは11地区/28地区のみ	
⑧	4-4	老人クラブ活動人数	累計1,650人	累計1,758人	累計1,630人	累計1,554人	累計1,650人	累計1,515人	累計1,650人	累計1,467人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の目標	
⑨	4-4	シルバー人材センター登録者数	累計255人	累計213人(平成26年度時点)	累計245人	累計215人	累計255人	累計210人	累計255人	累計234人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 240人	

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価		番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度の実実施計画	委員会 評価	委員会意見						年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
4. 高齢者福祉・介護の充実	4-3	介護保険サービスの充実	高齢者いきいき課	介護保険サービスの給付	介護保険サービスの給付適正化事業として、4事業所のケアプラン点検を行い適正な給付が行われていることを確認した。	介護保険サービスの適正な給付を行うため、ケアプランの点検などの適正化事業や集団指導、実地指導を行う。	①順調	①順調	①順調	⑧	4-4	老人クラブ活動人数	累計1,650人	累計1,758人	累計1,630人	累計1,554人	累計1,650人	累計1,515人	累計1,650人	累計1,467人	②ほぼ達成 (70%以上 100%未満)	上里町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の目標
				介護保険サービスの給付	介護保険サービスの適正な給付が行われていることを確認した。	介護保険サービスの適正な給付を行うため、ケアプランの点検などの適正化事業や集団指導、実地指導を行う。																
	4-4	高齢者福祉の充実	高齢者いきいき課	老人福祉センターの運営	「高齢者の憩いの場」としての役割を担い運営を実施してきた老人福祉センターかみさと荘について、現在の指定管理者業務委託の期間満了等を踏まえ、令和3年度からの老人福祉センターかみさと荘の管理運営について検討を行った結果、施設劣化、利用者減少、保健センター等との複合化計画を鑑みて、令和3年度から複合化までの間休館とした。	老人福祉センターかみさと荘が3施設複合化までの間休館となったため、今後は個人の選択による地区公民館などの社会資源の活用を支援するなど時代の変化を捉えた高齢者支援策に取り組んでいきたい。	①順調	①順調	①順調	⑨	4-4	シルバー人材センター登録者数	累計255人	累計213人 (平成26 年度時点)	累計245人	累計215人	累計255人	累計210人	累計255人	累計234人	②ほぼ達成 (70%以上 100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6 年度 240人
				老人クラブ活動補助事業	新型コロナウィルス感染症の影響から、イベントの中止や縮小開催が続く、活動は全体的に低調であったが、1～3月にかけて各単位クラブによる会員の見守り訪問を実施し、会員の日常の様子を確認を行った。	老人クラブ活動として定期で自主的な見守り活動を実施できる体制構築を目指す。																
	4-4	高齢者福祉の充実	高齢者いきいき課	シルバー人材センター運営補助事業	高齢者の生きがいづくりの場としてのシルバー人材センターの活性化を図るために、広報活動の一つとして毎月奇数月に「お仕事説明会」の記事を町広報誌に掲載した。シルバー人材センターの地道な勧誘活動と併せて、登録人数の増加に非常に有効だった。	第8期計画に盛り込んだ介護人材の確保の施策としての元気高齢者へのセミナー実施等の事業を近隣市町及び県と連携して検討する。	①順調	①順調	①順調	⑧	4-4	老人クラブ活動人数	累計1,650人	累計1,758人	累計1,630人	累計1,554人	累計1,650人	累計1,515人	累計1,650人	累計1,467人	②ほぼ達成 (70%以上 100%未満)	上里町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の目標
				老人福祉・生きがい事業	高齢者の生きがいづくりの場としてのシルバー人材センターの活性化を図るために、広報活動の一つとして毎月奇数月に「お仕事説明会」の記事を町広報誌に掲載した。シルバー人材センターの地道な勧誘活動と併せて、登録人数の増加に非常に有効だった。	第8期計画に盛り込んだ介護人材の確保の施策としての元気高齢者へのセミナー実施等の事業を近隣市町及び県と連携して検討する。																

令和2年度

総合振興計画実施計画 効果検証シート

基本理念1 健やかで安心なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度の実施計画	委員会評価	委員会意見
5. 障害者(児)福祉の充実	5-1	障害者支援の理念の啓発	町民福祉課	授産製品等の優先調達 障害者の一般就労の促進 障害者虐待防止センターの運営	②概ね順調	制度の周知等、障害者支援については、概ね順調に取り組むことが出来た。	制度の周知を図り、引き続き障害者支援を進めていく。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	5-2	障害福祉サービスの充実	町民福祉課	障害福祉サービス(自立支援給付・地域生活支援事業) 児玉郡市障害者就労支援センター事業 障害児通所支援(児童発達支援・放課後等デイサービス等) 児玉郡市地域自立支援協議会の運営	①順調	障害者福祉サービス、障害者就労支援センター事業、障害児通所支援等、様々なサービスの提供に努めることが出来た。	地域で自立した生活を継続していくことが出来る様、状況に合わせたサービス提供に努める。また、より充実したサービスの提供出来るように体制を整備することも考えていく。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
5. 障害者(児)福祉の充実	5-3	生活支援の推進	町民福祉課	各種支援事業(重度心身障害者医療費、在宅重度心身障害者手当等)	①順調	順調に取り組むことが出来た。制度の周知に努め、ニーズに対し、迅速に対応することが出来た。	障害者(児)や介護者へのきめ細やかな生活支援に努める。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	数値目標									備考
				平成27年度計画策定時	平成30年度		令和元年度		令和2年度				
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度		
①	5-1	障害者就労施設等から物品等の調達金額	累計150万円	6万円	累計120万円	累計1,184,080円(年584,080円)	累計180万円	累計3,581,780円(年2,397,700円)	累計240万円	累計4,217,705円(年635,925円)	①大きく達成(100%以上)		
②	5-1	就労移行支援事業により福祉的就労から一般就労に移行した人数	累計10人	累計2人	累計6人	累計5人(年3人)	累計8人	累計9人(年4人)	累計10人	累計11人(年2人)	①大きく達成(100%以上)		

基本理念2. 快適で安全なまち

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念2 快適で安全なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
6. 都市基盤の充実	6-1	道路・橋りょうの整備・維持管理	まち整備課	児玉工業団地アクセス道路新設事業	①順調	児玉工業団地アクセス道路の用地買収を行い、工事に着手した。	児玉工業団地アクセス道路の用地買収及び工事を行う。橋りょうについては目視による日常的な点検を行った。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				橋りょう維持補修事業					
	6-2	都市計画の推進	まち整備課	都市計画マスタープランの推進	①順調	将来にわたり持続可能なまちづくりに向けた取組を実現化するため、都市計画マスタープランの一部改定を行った。	都市計画マスタープランを推進し、土地の適正利用を図る。また、将来にわたり持続可能な都市構造の形成を図るため、立地適正化計画を策定する。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				開発行為指導要綱の適正な運用					
				各種都市計画手法の検討					
	6-3	地域公共交通対策の充実(総合戦略基本目標4-4)	総合政策課	上里町コミュニティバス「こむぎっちゃん号」運行事業	③やや不調	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、公共交通全体の利用者が大幅に減少した。自粛期間等もあり、積極的な利用促進の実施も控えた。また、令和元年度に策定した「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき、こむぎっちゃん号支線ルートのルート再編を令和3年3月に実施した。	令和2年度に実施したルート再編の検証を実施し、町の他の関連計画との整合性を図りつつ、将来にわたり持続可能な公共交通網について検討していく。一般路線バスの運行支援についても継続的に行っていく。	③やや不調	上里町コミュニティバス「こむぎっちゃん号」運行事業では、数値目標の達成に至らなかったが、ルート再編等、個別計画に沿った事業の実施を行っている。また、新型コロナウイルス感染症による影響が収まった場合の事業再開に向け準備を進めること。
				生活バス路線運行支援事業					
				高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会への参画					
				駅前コミュニティ広場管理運営事業					
				駅南広場施設管理運営事業					
6-4	安全な歩行空間の整備	生涯学習課	こむぎっちゃんウォーキングコースの設定	②概ね順調	平成29年度までに6コース(東西南北4コース、初心者コース2コース)を設定しており当初の目的を達成。町民向けにコースパンフレットを作成し毎戸配布、令和元年度においては、コースの積極的な活用に向け、町民の方への啓発だけでなく、公民館事業と合わせたイベントでの活用なども行ってきた。しかし、令和2年度においては、コロナ禍であったため、町民個々の自主的なウォーキング活動に委ねた。	各ウォーキングコースを再点検し、周知及び利用促進、また、環境整備に努める。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
			まち整備課						安全な歩行空間の整備

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
①	6-2	地区計画の導入数	累計3以上	2	累計3以上	累計3	累計3以上	累計3	累計3以上	累計3	①大きく達成(100%以上)	
②	6-1	児玉工業団地アクセス道路用地の取得割合	100%	5.37%	60.0%	59.7%	80.0%	76.3%	90.0%	95.0%	①大きく達成(100%以上)	児玉工業団地アクセス道路事業計画の目標
③	6-1	橋りょう維持補修の進捗率	51.1%	2.3%	84.6%	76.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	①大きく達成(100%以上)	上里町橋梁長寿命化修繕計画の目標
④	6-3	神保原駅の1日当たり乗車人員	2,900人	2,822人	2,400人	2,828人	2,600人	2,799人	2,800人	1,977人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	
⑤	6-3	コミュニティバス年間利用者数	31,000人	10,931人(平成26年度)	25,000人	16,300人	31,000人	16,018人	31,000人	11,781人	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標が変更: 町営公共交通年間利用者数 22,300人

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念2 快適で安全なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画		総合計画庁内策定委員会の評価			
					令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見		
									令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画
7. 情報基盤・発信力の強化	7-1	快適で安全な情報利用の推進	総合政策課	公共Wi-Fi環境の整備	公衆Wi-Fi環境の運用を行った。	公衆Wi-Fi環境の安全性を確保し、安定的運用を図る。災害時の有効な活用方法を検討する他、住民周知・利用状況調査等を実施する。必要に応じて設置箇所拡大を検討する。	②概ね順調	施策として効果があった。公衆Wi-Fiについては、引き続き事業を継続すること。情報セキュリティの強化については、計画に沿った事業の実施を行うこと。		
				情報セキュリティの強化	令和3年度中に平成28年度に実施した情報セキュリティ強化対策(インターネット分離等)から5年を計画するため、機器更新やシステム導入について検討を行ったが、埼玉県自治体セキュリティクラウドの機器更新が令和4年度に実施することとなったことを受けて、令和3年度中の機器更新等を見送ることとした。	情報セキュリティについては、平成28年度に実施した自治体情報セキュリティ強化対策(インターネット分離等)から5年が経過したため、更なる強化対策(業務効率化や利便性向上を含む)を踏まえた機器更新やシステム導入を検討し、予算要求を行う。				
				総務課	個人情報保護の強化	問題となる事案もなく、個人情報は正常に保護されており、情報公開などの情報利用も順調に進められている。			引き続き、個人情報の厳格な保護と、情報利用の推進を図る。	①順調
	7-2	情報発信の多元化と強化(総合戦略基本目標2-1)	総合政策課	オープンデータ化事業	国の推奨データセット、埼玉県の共通データセットを保有する各課へ、データセットの提供依頼を実施し、収集したデータセットを「埼玉県オープンデータポータルサイト」へアップ(公開)を行った。	国の推奨データセット、埼玉県の共通データセットについては、概ねアップ(公開)が出ているため、情報の最新化を行うとともに、新たなデータセットの公開を検討する。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				広報紙発行事業	現在、広報紙はホームページで見られるほか、マチイロでダウンロードできる。アプリを登録している人は、通知が届くほか他市町村の広報紙もチェックできるため、登録者数はR元年度376件から、令和2年度484件に増えている。	引き続き、町の情報発信の中心である「広報かみさと」を「マチイロ」アプリなどを使い、多角的に情報発信していく。			①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				総務課	シティブロモーション事業					
7-3	行政内部の情報化の推進	総合政策課	情報セキュリティ研修の実施	新入職員向け情報セキュリティ研修、職員向け情報セキュリティ研修(eラーニングを含む)を例年通り実施した。官民データ活用推進基本法に基づく「市町村官民データ活用推進計画」及び、デジタル行政推進法及び上里町情報通信技術活用推進条例に基づく「情報システム整備計画」として位置付ける「上里町情報化推進基本計画」を策定した。	情報セキュリティ研修を定期的に開催する。情報化の推進については、国が示す自治体DX推進計画に基づき、「上里町情報化推進基本計画」の改定を行い業務効率化・住民サービス向上等に資する情報システムの整備・情報政策の実施を着実に実施する。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。			
			マイナンバー多目的利用の推進	マイナンバーカードの多目的利用については、マイナポイント及びマイナンバーカードの保険証利用に必要なマイキーID設定支援を実施した。						
			町民福祉課	マイナンバー多目的利用の推進	【マイナンバーカード交付促進】 マイナンバーカードの交付等に関する情報について掲示や広報でお知らせを行った。また、町民向けにマイナンバーカードの作成方法やメリットについて講座を開催した。一定期間、マイナンバーカードの受け取りに来ない方に対しては、再通知を行うなどにより交付を促した。			【マイナンバーカード交付促進】 引き続きマイナンバーカードの交付等に関する情報について掲示や広報でお知らせを行う。また、マイナンバーカードの受け取りが自宅でも可能になる申請時来庁方式を開始するので、利便性の向上と呼びかけにより交付促進につなげていきたい。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
①	7-1	公共Wi-Fiスポットの新設か所数	累計10箇所	-	累計0か所	累計0か所	累計10か所	累計10か所	累計10か所	累計10か所	①大きく達成(100%以上)	
②	7-2	オープンデータ化項目数	累計20項目	-	累計13項目	0	累計15項目	0	累計15項目	累計14項目	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	
③	7-3	マイナンバーカード申請割合	30%	7.86%	13.0%	12.4%	16.0%	15.0%	18.0%	31.7%	①大きく達成(100%以上)	人口30,875人(令和2年12月31日時点) 申請件数9,809件(令和3年3月31日時点)
④	7-2	ホームページ年間アクセス数	116,000人	84,000件(平成26年度)	93,000人	106,454人	96,000人	137,150件	165,000件	483,085件	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: ホームページ年間閲覧数 125,000件/年
⑤	7-2	SNS登録者数	累計730人	372人(平成26年度)	累計570人	累計596人	累計600人	累計653人	累計690人	累計676人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 累計850人
⑥	7-2	広報紙アプリ登録者数	累計390件	-	累計210件	累計283件	累計230件	累計376件	累計390件	累計484件	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 累計500件

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念2 快適で安全なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価		委員会評価	委員会意見
						令和2年度実施計画	令和3年度実施計画		
8. 環境保全の推進	8-1	環境保全の推進	産業振興課	総務課 全町一斉清掃事業	③やや不調	5月の「クリーンの日」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、11月に延期したが、8・9月に町内での感染者が増え始めたため、中止を決定した。	感染防止対策をお願いし、密を避けるため例年とは異なり、自宅から臨時の集積場所まで、ごみを拾う方法で実施する。	③やや不調	新型コロナウイルス感染症による影響が収まった場合の事業再開に向け準備を進めること。
				環境にやさしい農業推進事業	①順調	減農薬栽培のため、JA、農業共済と連携し、水稲稲種の温床消毒や、畜産堆肥購入助成等を行った。	環境にやさしい農業推進事業の適切な運営や、環境保全型農業直接支援対策事業を通じて、減農薬栽培の普及に努めるとともに、JAと連携したイベント等を通じ、環境配慮型農業の情報発信と上里産農産物の販売促進を図る。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				環境保全型農業直接支援対策事業		環境保全型農業直接支援対策事業では2団体に対し支援を行った。			
	くらし安全課	河川等の水質検査	②概ね順調	河川の水質調査・大気汚染調査を実施。また、環境基本法に基づき、7公害の苦情処理及び指導を実施。	環境保全意識の向上を図りつつ、継続して実施する。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
		公害等対策事業							
		児玉郡市広域市町村圏組合畜場こたま聖苑の運営							
8-2	適切なごみ処理の推進	くらし安全課	リサイクル活動の奨励	②概ね順調	取組効果を算定中(確定数については、令和3年秋頃に確定予定)	ごみを出さない減量化の取り組みを啓発するとともに、分別収集の徹底、家電や廃プラスチックの適正処理の推進など、再利用・再生利用の取り組みを推進する。また、広域で連携しながら、処理施設の適切な維持管理に努める。			
			一般廃棄物収集・運搬業務						
			児玉郡市広域市町村圏組合での処理施設の運営						
8. 環境保全の推進	8-3	生活排水処理対策の推進	上下水道課	公共下水道事業整備の促進	②概ね順調	下水道事業整備は計画に基づき実施している。下水道への接続の推進は、休日の窓口を閉鎖し説明日を設け対応する予定でありましたが、コロナの影響により開催することが出来なかった。下水道審議会を実施し全体計画見直しの検討を行った。雨水対策事業の検討を行った。農業集落排水の処理施設の維持管理は外部委託を行っている。下水道事業については、概ね順調と考えている。	前年度から継続する事業を中心に生活排水処理対策を推進して行きたい。今年度は、下水道全体計画見直しに伴う都市計画審議会及び地元説明会を行う。農業集落排水の処理施設の維持管理は外部委託を行う。	②概ね順調	今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。また、新型コロナウイルス感染症による影響が収まった場合の事業再開に向け準備を進めること。
				公共下水道事業接続の推進					
				農業集落排水処理施設水質維持管理					
	くらし安全課	合併処理浄化槽設置促進事業	②概ね順調	生活排水の適正な処理を図り、環境保全の推進に努めるため、合併浄化槽設置事業への補助事業を実施。	生活排水の適正な処理を図り、環境保全の推進に努めるため、合併浄化槽設置事業への補助事業を行う。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
		合併処理浄化槽法定検査受検率向上の啓発							
		地球温暖化防止実行計画の策定・推進							
8-4	多様なエネルギーの活用	くらし安全課	地球温暖化防止実行計画の策定・推進	②概ね順調	取組効果を算定中(第2次環境基本計画(中間見直し)において評価予定)	担当課におけるハード面の計画、予算状況について確認する。特に電力消費の削減につながる取組を優先とし、推進していく。			
			新・省エネルギー機器の設置促進				施策としての効果が認められる。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	数値目標									備考
				平成27年度計画策定時	平成30年度		令和元年度		令和2年度				
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度		
①	8-2	1人1日あたりごみ排出量	902g以下	980g	941g	975g	928g	946g	915g以下	算定中	実績値なし	一般廃棄物処理基本計画の目標	
②	8-2	資源化率	23.4%	20.0%	21.6%	18.4%	22.2%	18.3%	22.8%	算定中	実績値なし	一般廃棄物処理基本計画の目標	
③	8-3	生活排水処理人口	26,374人(令和2年度)	22,950人(平成26年度)	25,002人	23,003人	25,686人	22,965人	26,374人	22,988人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	生活排水処理基本計画の目標	
④	8-4	公共部門の温室効果ガス排出量	451t/年	509t/年(平成26年基準排出量)	488.445t	325.985t	478.676t	321.637t	469.102t	335.721t	①大きく達成(100%以上)	地球温暖化対策実行計画の目標	

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価			
					自己評価	令和元2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見		
9. 快適な住環境の確保	9-1	町営住宅の維持管理	まち整備課	町営住宅の管理・運営	①順調 適切な維持管理や運営事務を行い、町営住宅の適正な管理・運営に努めた。 また、町営住宅の計画的な維持管理・改修計画を実施するため、長寿命化計画を策定した。	適切な維持管理や運営事務を行い、町営住宅の施設の修繕・運営に努めた。 また、町営住宅長寿命化計画に基づき、修繕、改修等を実施するための実施設計を行う。	①順調	町営住宅の適正な維持管理と長寿命化計画の実施により、事業を着実に実施している。今後も計画に沿った維持管理及び改修等について実施すること。			
				町営住宅長寿命化計画の策定							
				町営住宅の改修等の実施							
	9-2	魅力ある住生活の確保(総合戦略基本目標2-3)	産業振興課	住宅リフォームの支援	①順調	共通商品券による補助事業により町内事業者の活用促進と地域振興を図った。コロナ禍においても例年通りの需要が認められた。	町内事業者の活用という目的に配慮する。令和3年度より予算額を拡大した。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
					暮らし安全課	空き家バンク制度の運用	②概ね順調	空き家アンケート調査を実施。所有者等のニーズを把握することができた。	アンケート調査で得られた情報を庁内で共有し、必要な施策を各課で検討する。「空き家相談会(仮称)」を開催することを検討し、管理不全空き家の解消に努める。	②概ね順調	利活用された空き家数は目標値に届いていないが、年度計画に沿った事業の実施ができていく。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
			総合政策課	定住促進奨励金制度の創設・運用	②概ね順調	空き家のハウスクリーニングを行うことにより利活用可能な空き家を確保し、空き家を持っている人とU/Iターン者をはじめとする空き家を活用したい人を結び、上里町への定住促進による地域の活性化を図ることを目的とした「上里町空き家利活用推進事業補助金交付要綱」を策定した。上記アンケートや固定資産税の納税通知書にチラシを同封し制度の啓発をした。	「上里町空き家利活用推進事業補助金」については継続していく。また広報活動についても継続して行っていく。	②概ね順調	新たな制度である空き家利活用推進事業補助金(ハウスクリーニング補助金)については、啓発方法の検討により申請数の向上を目指すこと。		
					まち整備課	住生活基本計画の策定	③やや不調	住宅政策として、「空き家対策意向調査」、「上里町建築物耐震改修促進計画の改定」を実施した。	住生活基本計画は、住宅政策全般を対象とするマスタープランであり、住宅分野のほかに防災、福祉、空家対策等と連携が必要である。関連政策の内容を整理した上で、本計画の策定を検討する。	③やや不調	現在策定中の「立地適正化計画」及び策定済の「町営住宅長寿命化計画」について策定後の効果検証を行い住生活基本計画の策定について検討すること。
					上下水道課	上下水道	②概ね順調	水道料金の未納対策や浄水場管理は外部委託を行っている。 浄水場耐震化診断を行った。配水管の耐震化は民地管の解消と併せて進めている状況である。 料金改定については審議会を開催した。改定時期は令和4年度の予定である。 有収率は目標値を達成しているが、前年度と比較して若干率が下がっているため対策が必要である。水道事業としては全体的に概ね達成していると考えている。	前年度から継続する事業の他、浄水場耐震化診断の結果を踏まえて今後、複数年計画として全体設計を行う予定。 また料金改定へ向けた条例改正等の準備を行う。 今後も有収率の改善と更なる水道の安定供給を目指す。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
			9-3	水道の安定供給	上下水道課	水道事業料金未納対策	②概ね順調	水道料金の未納対策や浄水場管理は外部委託を行っている。 浄水場耐震化診断を行った。配水管の耐震化は民地管の解消と併せて進めている状況である。 料金改定については審議会を開催した。改定時期は令和4年度の予定である。 有収率は目標値を達成しているが、前年度と比較して若干率が下がっているため対策が必要である。水道事業としては全体的に概ね達成していると考えている。	前年度から継続する事業の他、浄水場耐震化診断の結果を踏まえて今後、複数年計画として全体設計を行う予定。 また料金改定へ向けた条例改正等の準備を行う。 今後も有収率の改善と更なる水道の安定供給を目指す。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
						水道事業配水管耐震化促進					
水道事業水質安全管理											
水道事業有収率改善											

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	数値目標									備考
				平成27年度計画策定時	平成30年度		令和元年度		令和2年度				
					現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
①	9-2	上里町が「住みよい」と思う住民の割合	53%	26.4%	37.0%	0.0%	42.4%	79.7%	53.0%	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠:まちづくりアンケート R3総合振興計画(後期)策定のためのアンケートに設問項目あり	
②	9-2	利活用された空き家数	累計7件	—	累計4軒	0軒	累計5軒	累計1軒	累計6件	累計1件	③未達成(70%未満)		
③	9-1	町営住宅の長寿命化計画の策定	計画策定	—	—	—	—	—	計画策定	策定済	①大きく達成(100%以上)		
④	9-3	水道の有収率	82%	78.4%	79.3%	82.7%	80.2%	82.0%	85.6%	81.97%	①大きく達成(100%以上)	水道ビジョンの平成42年目標から算出	

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和元2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
9. 快適な住環境の確保	9-4	公園・緑地の充実	産業振興課	農村公園の整備	①順調	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベント事業等については縮小となったが、JA主催の田んぼオーナー事業等を通して町農産物のPRを行った。	農村公園の運営主体「埼玉ひびきの農協」及びこのはなパーク関連事業者と協力し、イベント等のPR活動を通じて周辺地区の活性化を図る。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
			まち整備課	烏川・神流川総合運動公園の魅力化 老朽化する遊具等の修繕・撤去と代替遊具の設置検討	②概ね順調	烏川・神流川総合運動公園内の忍保パブリック公園の除草回数を増やすなど、公園の適切な維持管理に努めるとともに、長久保公園に遊具(2基)を設置した。また、新たな憩いと交流の場として、このはなパーク内(仮称)多目的広場の整備を推進した。 老朽化する遊具等について、定期点検を実施し、使用にあたり危険性が高い遊具を優先して撤去等を行った。	烏川・神流川総合運動公園内の遊具広場の除草回数を増やすなど、公園の適切な維持管理に努める。また、このはなパーク内(仮称)多目的広場を整備する。 公園遊具等定期点検を実施し危険遊具の解消を目指し、撤去・修繕等を集中して行う。	②概ね順調	撤去すべき危険遊具数は目標値に届いていないが、施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
⑤	9-4	公園の満足度	37%	18.4%	18.4%	—	18.4%	20.5%	25.0%	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠:まちづくりアンケート
⑥	9-4	危険遊具数	0基	130基	78基	88基	52基	70基	39基	67基	③未達成(70%未満)	5力年で危険遊具を解消

令和2年度

総合振興計画実施計画 効果検証シート

基本理念2 快適で安全なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
10. 消防・防災の強化	10-1	消防・救急体制の維持・強化	くらし安全課	消防団運営事業(新入団員研修・各種幹部科研修)	①順調	神川町消防団と合同で水防技術講習会を受講し、中継送水訓練を実施するなど平時からの連携を図った。また、水防団員としての活動に必要な救命胴衣を購入するなど、資機材の充実に努めた。	昨年度、コロナ禍で未実施となった応急手当普及員講習を女性消防団員が受講し、地域での防災講習会等の場において、AED講習などを実施する。夜間での活動に必要なヘッドライトを購入するなど、更なる資機材の充実に努める。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				女性消防団員の養成					
				消防施設整備事業					
	10-2	地域防災体制の強化(総合戦略基本目標4-1、4-3)	くらし安全課	自主防災組織の強化	②概ね順調	自主防災組織はモデル地区4地区に加え、「神保原1丁目防災会」が立ち上がり、全部で5地区となった。	自主防災組織の強化・拡充を図るため、防災講習会を開催する。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。特に、コロナ禍における避難所運営等、今後様々な状況下においての対応が求められているため訓練等の実施を着実に実施すること。
				防災フェスティバル・防災講座等による意識啓発		コロナ禍で、防災フェスティバルや防災講習会は実施できなかったが、職員による避難所開設・運営訓練を実施した。	コロナ禍での避難所運営に対応するため、学校施設等を活用しての避難所開設・訓練を実施する。		
				防災訓練の推進(職員参集訓練・図上訓練・地区別訓練等)		防災行政無線のデジタル化	災害等の情報伝達手段の更なる充実のため、防災行政無線の改修等を実施する。		
				国民保護の推進					
	10-2	町民福祉課	災害時要配慮者登録の強化	①順調	地域支え合いマップの更新作業を実施し、各地区の民生委員・児童委員及び区長への情報共有を実施した。また、町「避難行動要支援者名簿」に登録のある障害者に対し、郵送により「個別避難計画」の作成依頼を実施した。	障害者や地域支え合いマップ登録者を含む「避難行動要支援者名簿」登録者の「個別避難計画」について、更新作業の実施及び、より多くの方の計画作成を推進する。又、民生委員、区長、自主防災組織等への情報提供をし、町と住民が一体となった支援体制づくりに取り組む。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
				まち整備課	予防対策事業の推進	①順調	「第3期上里町建築物耐震改修促進計画」を改訂した。補助制度を広報誌・ホームページで周知し、募集を行った。河川改修の促進を図るため、国・県に対して予算確保の要望を行った。	一般住宅(昭和56年以前の建築)耐震診断、耐震改修補助事業を継続実施する。河川改修の促進を図るため、国・県に対して予算確保の要望を行っていく。	①順調
	10-3	業務継続計画の運用	くらし安全課	業務継続計画(BCP)の改訂 業務継続計画(BCP)に基づく職員研修等の推進	①順調	災害時の配備職員名簿の更新を行い、参集体制の確認に努めた。 職員研修を実施し、災害時の職員体制や避難所運営等について理解を深めた。	配備職員名簿の更新を行い、災害時の参集体制を確保するとともに、図上訓練や避難所開設訓練を実施し、職員の防災意識向上を図る。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	数値目標									備考
				平成27年度計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度				
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度		
①	10-1	火災発生件数	5年平均10件以内	12.3件(平成24~26年平均)	10件	6件(年平均11.5件)	10件	6件(年平均9.6件)	10件以下	6件	①大きく達成(100%以上)		
②	10-1	女性消防団員の割合	5%	0%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	①大きく達成(100%以上)		
③	10-2	自主防災組織モデル地区数	4地区	-	累計2地区	累計0地区	累計4地区	累計4地区	累計4地区	累計5地区	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 6地区	
④	10-2	災害による死傷者数	累計0人	-	0人	0人	0人	0人	0人	0人	①大きく達成(100%以上)		
⑤	10-2	防災メール登録件数	累計4,600件	1,251件(平成26年度)	累計2,250件	累計2851件	累計2,500件	累計4,045件	累計4,500件	4,817件(人)	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 5,000人	

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念2 快適で安全なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
11. 防犯・交通安全対策の強化	11-1	地域防犯活動の推進(総合戦略基本目標4-1)	くらし安全課	防犯灯・防犯カメラ等の設置・維持管理	②概ね順調	公園及び各児童館の計11か所に防犯カメラを設置した。 また、犯罪を未然に防ぐため、防犯パトロールの強化や警察と連携した防災行政無線による注意喚起を行うなどの取組を実施した。	近年の犯罪は巧妙化しており、特に特殊詐欺による被害が多発している。犯罪を未然に防ぐため、防犯パトロールの強化や警察と連携して防災行政無線による注意喚起を行うなどの取組を継続して実施する。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				防犯まちづくり事業					
			産業振興課	消費生活対策事業	③やや不調	県や本庄市との連携した消費生活相談(月～金)や、町広報誌への啓発記事の掲載(くらしの110番)により、消費者被害の未然防止を図った。講座の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	消費生活相談員による消費者相談を継続実施する。また、広報かみさとによる啓発や、消費者被害防止サポーターによる寸劇事業などを通じ、消費者被害の未然防止を図る。	③やや不調	消費生活に関する講座の開催については、コロナ禍での実施方法等を検討すること。
	11-2	交通安全対策の推進(総合戦略基本目標4-1)	くらし安全課	交通安全教育・啓発の推進	①順調	交通安全教育として、町内全小学校を対象とした交通安全教室や自転車免許試験を実施。交通事故を防止するため、警察及び道路管理者等と協議し、町道上の交通安全施設の整備(道路反射鏡や道路区画線及び道路照明灯・防犯灯の設置・補修)を実施。	交通事故は減少傾向にあるものの、埼玉県内での交通事故発生率は高い状況であるため、交通事故減少の取組を継続して行っていく。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
小学生自転車運転免許事業									
交通安全指導員による交通指導等									
交通災害共済加入の促進									
交通安全施策の設置・補修									

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
					①	11-1	年間犯罪率(人口1,000人あたり)	8件以下	9.59(平成26年)	8.4	11.3	
②	11-1	防犯パトロール隊の数	累計30団体	26団体	累計27団体	累計29団体	累計27団体	累計30団体	累計30団体	累計30団体	①大きく達成(100%以上)	※ 第2期総合戦略の目標
③	11-1	消費生活に関する関係機関等からの相談件数	10件	8件	7件	9件	10件	8件	10件	5件	③未達成(70%未満)	
④	11-1	消費生活に関する講座の受講者数	1,100人	1,030人	1,070人	100人	1,080人	670人	1,090人		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 実績値なし	年10人増をめざす
⑤	11-2	交通人身事故発生件数	178件	212件(平成22～27年平均)	189件	165.0	185件	135件	181件	83件	①大きく達成(100%以上)	年2%削減をめざす

基本理念3. 実り豊かなまち

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念3 実り豊かなまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
12. 農業の振興	12-1	担い手の確保 (総合戦略基本目標1-2)	産業振興課	担い手育成支援事業	①順調	農業次世代人材投資資金により5経営体への支援を行った。 また、認定農業者連絡協議会の運営に加え、61経営体(全126経営体)の経営改善計画の作成支援を行った。 小麦栽培体験教室には7組が参加。感染症対策を講じて実施した。	農業次世代人材投資資金の適切な活用により次世代の担い手の確保を図るとともに、農林振興センター、農協、農業委員会と連携し、認定農業者等の包括的な経営支援を行う。 また、小麦栽培体験教室などを通じ、農業への興味理解の醸成を図る。	①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				認定農業者支援事業					
				小麦栽培体験教室					
12. 農業の振興	12-2	農地の有効活用	産業振興課	農地中間管理事業	①順調	農地中間管理事業については、計画どおり実施した。 遊休農地については、前年度と比べ減少した。 借受希望の相談はあるが、意向に沿う農地が少なかった。	農地中間管理事業については、引き続き対象地区を定めて、実施する。 遊休農地の解消については、担い手農家育成を図り、実施する。 農地バンク制度の周知を図り、貸付希望を増やす。	②概ね順調	遊休農地率については目標の達成に至らなかったが、毎年度減少しており、施策の成果が見られる。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				中核的担い手農家育成奨励金交付事業					
				農業委員会農地バンク制度					
12. 農業の振興	12-3	生産基盤の強化と経営の安定化の促進	産業振興課	経営所得安定対策の推進	①順調	経営安定所得対策590人が営農計画書を提出した。回収率は前年度より3.9%向上した。 各土地改良推進事業で土地改良区の維持管理費積立金の予算額を積みためた。 多面的機能支払交付金地域の活動組織に対して補助金を交付し活動を支援した。	経営安定所得対策引き続き、農協、農業共済、農林振興センターと連携し、制度の適切な運用により、農業者の経営安定に資するよう、情報提供等を強化する。 各土地改良推進事業で土地改良区の維持管理費積立金年間予算額の積みためを実施する。 多面的機能支払交付金地域の活動組織に対して補助金を交付し活動を支援する。	①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				土地改良推進事業(維持管理・長寿命化率)					
				多面的機能支払交付金					
12. 農業の振興	12-4	「かみさとブランド」の確立 (総合戦略基本目標1-3)	産業振興課	環境にやさしい農業の推進	②概ね順調	減農薬栽培のため、JA、農業共済と連携し、水稲稲種の温床消毒や、畜産堆肥購入助成等を行った。 環境保全型農業直接支援対策事業では2団体に対し支援を行った。 このはなパーク付近観光農園等の活用により地元野菜を使った加工品についてJA、本庄農林と検討を行った。	環境にやさしい農業推進事業についてはPDCAサイクルにより実効性の高い事業への見直しを行う。また、有機野菜についての情報発信を行うとともに、このはなフェス等、JAと連携したイベント等を通じ、上里産農産物の販売促進を図る。	②概ね順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
					①	12-1	新規就農者数	累計50人	8人(平成26年度)	累計20人	累計19人(年10人)	
③	12-2	認定農業者数	累計130人	123人	累計124人	累計121人	累計126人	累計126人	累計128人	累計126人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	—
④	12-2	農地中間管理事業実施面積	累積500ha	15ha	累積200ha	累積201ha	累積270ha	累積348ha	累積340ha	累積428ha(年80ha)	①大きく達成(100%以上)	—
⑤	12-2	遊休農地率	1.00%以下	1.42%	1.25%	2.50%	1.17%	1.90%	1.08%	1.72%	③未達成(70%未満)	農用地利用状況調査
⑥	12-4	6次化製品の開発数	累計5品	—	累計2品	累計1品(年1品)	累計3品	累計1品(年0品)	累計4品	累計3品(年2品)	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標を変更 目標値:ふるさと納税返礼品のうち6次産業による商品の数10% 製品名:「宝美いちご」、「梨ワイン」

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念3 実り豊かなまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
13. 商工業の振興	13-1	経営安定化への支援	産業振興課	中小企業信用保険法に基づく特定中小企業者の認定 制度融資等に関する情報提供・相談	①順調	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた事業者に対し援給付金事業を実施した。また、資金調達を行う中小企業等に対して、迅速な認定事務を行うとともに、利子保証料補助事業を実施した。商品券事業を実施し地域経済の活性化を図った。	利子信用保証料補助事業を新型コロナウイルス感染症の動向により、町内経済の循環を促進するための事業を検討する。	①順調	新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響に対し、迅速な対応を行った。今後も様々な状況に対し対応できるように、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	13-2	起業・新分野への進出の促進(総合戦略基本目標1-4)	産業振興課	産業競争力強化法に基づく創業支援事業	①順調	創業支援事業計画については実施機関を追加(県産業振興公社)し充実を図るとともに、上里町起業支援事業を改正し利用しやすい環境の整備を行った。創業支援事業実績4件、起業支援により開業3件。	起業意向者に対して、商工会等と連携し創業支援事業計画もとづく支援を推進するとともに、町起業支援事業の適切な運用を図る。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	13-3	企業誘致の推進(総合戦略基本目標1-1)	産業振興課	企業誘致事業(施設奨励金、雇用促進奨励金、法人町民税奨励金の交付)	②概ね順調	奨励金制度についてHPや相談窓口にてPRを行った。令和3年度には1事業者が活用となる見込み。また、各企業の立地意向に合わせ、候補地の調査斡旋を行った。1ヶ所について令和3年度中の誘致を見込んでいる。また、工場立地地域準則条例を策定し企業進出の促進と町内起業の経営改善支援環境を整備した。	企業誘致奨励金について適切な運用を図る。また、各企業の立地意向に合わせ、候補地の調査等を行うとともに、各段階に応じ伴走的型支援を行う。このほかパーク周辺における民間資本を活用した観光的土地利用や農業的土地利の検討を行う。	②概ね順調	数値目標の達成には至らなかったが、来年度の誘致が見込まれる中での準備等が進められている。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時		平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度		
												現状値	
①		製造品出荷額等	1,200億円	1,174億円(平成26年度)	1,182億	1,364億	1,186億	1,364億	390億円	1330億円	①大きく達成(100%以上)	工業統計調査 又は経済センサス活動調査	
②		年間商品販売額	390億円	388億円(平成26年度)	390億円	389.5億	390億円	389.5億	390億円	389.5億円	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	商業統計 又は経済センサス活動調査	
③		主な買い物場所が上里町の割合	60.0%	53.5%	56.5%	53.5%	57.5%	53.5%	58.5%	53.5%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	埼玉県広域消費動向調査(商品総合)	
④	13-2	創業支援対象者数	年4件	1件	1件	年3件	1件	年6件	年1件	14件	①大きく達成(100%以上)		
⑤	13-2	創業支援事業計画に伴う補助金の交付件数	累計2件	—	累計1件	累計0件(年0件)	累計2件	累計0件(年0件)	累計2件	3件	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和2~6年度の5年間で合計2件	
⑥	13-2	創業支援を受けて創業した件数	年1件	0件	年1件	年3件	年1件	年3件	年1件	4件	①大きく達成(100%以上)		
⑦	13-3	上里町企業誘致条例に基づく新規立地企業数	累計3社	1社(平成26年度)	累計2社	累計1社(年0社)	累計3社	累計1社(年0社)	累計3社	累計1社(年0社)	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和2~6年度の5年間で合計2社	

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念3 実り豊かなまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
14. 観光・交流のまちづくりの推進	14-1	観光拠点の充実(総合戦略基本目標2-2)	産業振興課	農業振興プロジェクトによる農業観光の推進	①順調	令和3年度に開催を予定している「このはなフェス」に向け、イベント実行委員会のメンバーを中心に新たな組織「上里町産業観光事業等推進会議」を設置した。JA主催の上里産米野菜PR事業「田んぼオーナー制度」では町外者10名の参加の下実施した。	SA周辺地区の農業体験ゾーンについて、このはなパークのイメージに沿った事業展開を検討する。田んぼオーナー制度については、事業主体のJAと連携し発展的な継続を図る。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	14-2	多様な観光交流の推進(総合戦略基本目標2-2)	産業振興課	集客イベント・キャンペーンの充実	②概ね順調	かみさと春まつりが新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止となるなど、集客イベントは開催自粛となったが、令和3年度に開催を予定している「このはなフェス」に向けた準備や、観光マップの更新を行った。	「このはなフェス」開催に向け、関係課との調整等を行うとともに「上里町産業観光事業等推進会議」を運営する。また、感染拡大状況に応じたイベント対応を図る。	②概ね順調	数値目標については新型コロナウイルス感染症の影響により達成には至らなかったが、近年の年間観光客入込数は増加している。新型コロナウイルス感染症による影響が収まった場合の事業再開に向け準備を進めること。
				まち整備課	上里ゴルフ場の充実(イベントの開催等)	④不調	新型コロナウイルス感染症の蔓延によりイベントについては自粛した。	新型コロナウイルスの感染状況によりイベントの開催について検討する。	②概ね順調

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	数値目標									備考
				平成27年度計画策定時	平成30年度		令和元年度		令和2年度				
				年度目標値	中間目標値	実績値	中間目標値	実績値	中間目標値	実績値	達成度		
①	14-2	年間観光客入込客数	70,000人	56,324人(平成26年度)	59,200人	64,550人	60,000人	70,402人	70,000人	41,664人	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:年間70,000人 【イベント開催状況等】 ・ふれあいまつり0人(中止) ・春まつり0人(中止) ・ゴルフ場41,664人(緊急事態宣言中概ね2か月間の営業自粛)	
②	14-1	年間観光客入込客数(内上里ゴルフ場年間利用者数)	53,000人	42,586人(平成26年度)	42,900人	47,750人	43,000人	51,202人	47,500人	41,664人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:減少を抑え現在の水準(47,500人)を維持する	
③	14-1	農村公園年間来客者数	35万人	-	25万人	25万5千人	30万人	28万5千人	35万人	25万7千人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:アグリパーク上里年間来客数令和6年度 35万人	

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念3 実り豊かなまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
15. 雇用対策の推進	15-1	雇用の安定 (総合戦略基本目標1-5)	産業振興課	ハローワークと連携した就職相談等	②概ね順調	スマートホンの普及により、町端末利用者数自体は7人となった。感染拡大に伴う就労機会減少による生活困窮者からの相談が寄せられたため、緊急小口資金やアスポーツ相談支援センターを紹介した。	ハローワークの情報検索アプリを活用した情報提供を行うとともに、情報検索アプリの周知に努める。検索機能の充実により対面相談件数は減少が見込まれるが、相談者に対しては、個々の事情に応じた対応を心掛ける。	②概ね順調	町設置端末での求人情報の利用者数は、目標の達成に至らなかった。今後は、求職者の要望に応えられるようアプリ利用も含めた情報検索の方法を周知すること。
			高齢者いきいき課	シルバー人材センターへの支援	①順調	町の広報誌への掲載回数は増やさなかったが、内容を女性に限った説明会に変更したりなど工夫したことにより、新規会員の増加に非常に効果的だった。 令和3年度から空き家管理や寸法直しなどの新事業を開始した。 第8期計画に介護人材のすそ野拡大のための施策として、元気高齢者へのセミナー実施などを盛り込んだ。	第8期計画に盛り込んだ介護人材の確保の施策としての元気高齢者へのセミナー実施等の事業を近隣市町及び県と連携して検討する。	①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	15-2	就労環境の改善 (総合戦略基本目標1-5)	産業振興課	中小企業退職金共済制度の普及促進 就労環境の改善等の促進 仕事と生活の調和の促進	③やや不調	中小企業退職金共済制度は1件の加入があつた。令和元年度と比較し、新規採用者数が抑えられたことが減少の原因と考えられる。	単独では退職金制度をもつことができない中小・零細企業に対し、国の援助で行う「中小企業退職金共済制度」は、従業員の生産性の向上と人材の安定確保につながるため、今後も制度の周知と加入促進を商工会と協力して行う。	③やや不調	中小企業退職金共済制度については、数値目標の達成に至らなかった。制度の継続を維持するため、商工会と協力し、普及促進を進めること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
					①	15-1	町設置端末での求人情報の利用者数	100人	5人(平成28年4月分)	累計40人(年20人)	累計25人(年13人)	
②	15-1	就職相談者数	累計56人	—	累計32人	累計26人(年13人)	累計40人	累計38人(年12人)	累計48人	累計47人(年9人)	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和2~6年度の5年間合計 40人
③	15-1	シルバー人材センター登録者数	累計255人	213人(平成26年度)	累計245人	累計215人	累計255人	累計210人	累計255人	累計234人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 240人
④	15-2	中小企業退職金共済制度の加入件数	年8件	年5件	年5件	年6件	年6件	年13件	年7件	年1件	③未達成(70%未満)	商工会受付件数

基本理念4. 人が輝くまち

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念4 人が輝くまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価		委員会評価	委員会意見
						令和2年度実施計画	令和3年度実施計画		
16. 学校教育の充実	16-1	教育内容の充実(総合戦略基本目標3-4)	学校教育指導室	教員指導力向上研修	コロナ禍の中で、変更はあったが、年間指導計画に研修を位置付け、指導力向上につながる有意義な研修が実施された。	上里町の全小中学校で実施している学び合い学習について知見を有する指導者を招聘し、学び合い学習のより効果的な実施を図る。また、先進校への視察や教育講演会を行う。	②概ね順調	各数値目標については、コロナ禍による休校の影響から、実施ができなかったため実績値が無いものがある。その中で、保護者アンケートによる授業の満足度は目標を達成できていることから、施策としての効果が出ていると考えられる。	今後事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				中学生学力アップ教室	7月16日にスタートし、1月7日まで月曜日と木曜日を中心として、年間49回実施、37名の生徒の参加であった。緊急事態宣言発令のため、1月13日から、中止とした。研修だけでなく、日々の教職員の授業改善に向けたきめ細やかな支援が行われた。	月曜日と木曜日を中心として、年間65回以上の実施と定員を希望に合わせた規模にできるよう整備を図る。			
				学力向上指導員の配置	体力向上推進委員会を中心として、各校の課題の把握と向上に向けた推進計画を作成した。また、日本女子体育大学との包括的連携に向けた実施計画等の作成をし、体力向上推進にむけた中心的役割を担った。	学校教育に対し専門的識見を有する「学力向上指導員」を配置し、適宜派遣、指導助言を行い、全小中学校における学び合い学習の実施・定着を図る。			
				体力向上の取り組みの推進	小学校では、外国語や外国語活動の授業においてALTとの授業を楽しんでいる児童の様子がある。8月に実施予定だった「英語でやべろう合宿」には感染拡大防止のため中止とした。	ALTを5名を全小中学校に派遣し、小学校・中学校ともに英語におけるコミュニケーション能力の向上に向けた授業の充実を図る。			
				国際理解教育の推進	自らの課題として取り組めるような様々な研修会や講演会を開催したことにより、人権問題の解決と差別のない明るい町づくりに繋げる意識を推進することができた。	「人権感覚育成プログラム」を年間指導計画に位置づけ、授業実践を行う。また、人権問題を計画的に取り上げる「上里町人権講演会」等、人権問題の解決に向けた研修会を開催する。			
	16-2	児童生徒の個に応じた支援体制の充実	学校教育指導室	特別支援教育の推進(特別支援学級生活支援員、介助員の配置、臨床心理士による巡回相談の実施等)	全小中学校で巡回相談を計画的に実施し、特別な配慮を要する児童への日々の関わりや学習について生かすことができた。また、児童支援員や介助員、特別支援学級生活支援員の配置をし、個に応じた指導の充実を図ることができた。	本庄特別支援学校のコーディネーターによる巡回相談を実施し、特別な配慮を要する児童への関わりや学習面について指導助言を行うとともに、共生社会の実現に向けて合理的配慮の整備を進める。また、専門員の派遣を積極的に行い、特別支援教育の更なる充実を図る。児童支援員や介助員、特別支援学級生活支援員の配置をし、個に応じた指導の充実を図る。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
				悩み等への対策の推進(さわやか相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、児童支援員、学習支援員の配置、ふれあい教室との連携等)	それぞれ配置した役割を理解し、個に応じた支援を行うことができた。また、ふれあい教室との連携も図れた。	各校や保護者の要望に応えられるよう体制の構築を計画的に推進していく。			
				家庭療育の推進	家庭教育の更なる充実を図るべく「幼児を持つ親の学習」、「就学時健康診断時における親の学習」、「6年生を持つ親の学習」等、児童生徒の発達段階に即した学習会を開催したことで、家庭教育の充実を図ることができた。	「幼児を持つ親の学習」、「就学時健康診断時における親の学習」、「6年生を持つ親の学習」等、児童生徒の発達段階に即した学習会を開催し、家庭教育の充実を図ることができた。			
				学校応援団活動の活性化	学校応援団コーディネーターが学校の担当者と連携して地域の関係者との連絡調整を図り、防犯パトロールを実施し、安心安全に向けた取組がさらに充実した。ミンポランディアや昔遊び等の学習支援については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できなかった。	学校応援団コーディネーターを中心として、学校の担当者と連携して地域の関係者との連絡調整を図り、感染症対策を講じながら、防犯パトロールや環境整備、学習支援を行うことで、学校応援団活動の活性化を図る。			
				学校施設・設備の改修・更新	「個別施設計画」に基づき、校舎棟等1校の改修工事設計委託を実施した。	「個別施設計画」に基づき、校舎棟等1校の改修工事及び体育館等1校の改修工事設計委託を実施する。			
16-3	教育環境の整備	学校教育課	安全対策の推進	衛生環境の改善を図るため、体育館屋外トイレ等4校の改修工事設計委託を実施した。	環境の改善を図るため、体育館トイレ2校の改修工事及び校舎棟トイレ1校の改修工事設計委託を実施する。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
			また、体育館の床・照明設備、消防設備や給排水設備の改修・交換工事等を実施した。	消防設備や給排水設備等の改修・交換工事を引き続き実施する。					

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	数値目標					令和2年度	備考		
				平成27年度計画策定時	平成30年度		令和元年度					
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値			年度目標値	実績値
①	16-1	全国学力学習状況調査の全国平均を100とした時の上里町の値	国語:100 算数・数学:100	国語 92 算数・数学 88 (平成26年度)	国語98 算数・数学 96	国語90 算数・数学85	国語100 算数・数学 100	国語95 算数・数学91	国語100 算数・数学 100	実績値なし	全国学力学習状況調査(上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標) ※ 第2期総合戦略の目標値:国語100 算数・数学 100	
②	16-1	理科が好きな生徒の割合	84%	79%(平成26年度)	83.0%	80.0%	84.0%	国語95 算数・数学91	84.0%	実績値なし	全国学力学習状況調査(上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標) ※ 第2期総合戦略では指標が変更	
③	16-1	中学2年英語における「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の値	83%	78%(平成26年度)	82.0%	未実施	83.0%	アンケートの実施がなかったため実績値無し	83.0%	実績値なし	埼玉県学力・学習状況調査(上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標) ※ 第2期総合戦略では指標が変更:中学校3年卒業時の英検3級所得率 20%	
④	16-1	新体力テスト(144種目)において県平均以上である種目数	83種目	73種目(平成26年度)	80種目	39種目	83種目	47種目	83種類	実績値なし	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:73種類	
⑤	16-2	1年間に30日以上欠席した不登校児童生徒数	15人	23人(平成26年度)	17人	52人	15人	57人	15人	21人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:31人以下
⑥	16-1	授業の満足度	87%	82.0%	86.0%	84.0%	87.0%	84.1%	87.0%	87.0%	①大きく達成(100%以上)	保護者アンケート

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念4 人が輝くまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
17. 生涯学習の充実	17-1	教育内容の充実	生涯学習課	<p>公民館事業の推進(せせらぎ大学、サルビア学級、主催事業等)</p> <p>(再掲)放課後子ども教室推進事業</p> <p>わんぱく合宿塾事業</p> <p>親の学習・親になるための学習</p> <p>生涯学習を担う人材の育成</p> <p>子ども大学ほんじょう事業</p> <p>のびっ子教室</p>	<p>公民館主催事業 講座数25講座、延べ参加人数546人</p> <p>学びとふれあい教室事業 講座数5講座、延べ参加人数75人</p> <p>サルビア学級事業 講座数2講座、延べ参加者数25人</p> <p>せせらぎ大学事業 講座数13講座、延べ参加者人数280人</p> <p>公民館・児童館まつり: 中止</p> <p>地区公民館もちつき大会: 中止</p> <p>ふるさと学 講座数4講座、延べ参加者: 95人</p> <p>放課後子ども教室 町内小学校5校で実施 ・上里東小学校 定員40名 ・賀美・長幡・七本木・神保原小学校 定員20名</p> <p>わんぱく合宿塾: 中止</p> <p>親の学習 親になるための学習、幼児を持つ親の学習 参加者10名 就学時健康診断時における親の学習 参加者228名、6年生をもつ親の学習 参加者302名 親となるための学習: 中止</p> <p>子ども大学ほんじょう: 休校</p>	<p>公民館主催事業 社会を取り巻く諸問題を仲間とともに解決、理解し、公民館活動を通して心の豊かなふるさとづくりを推進していく。</p> <p>学びとふれあい教室事業 複数回にわたり一つのテーマについて学習します。学習を通して人と人のつながりをつくり人との絆、地域の絆を構築します。</p> <p>サルビア学級事業 男女共同参画社会の実現を目指し一般教養を高め、より豊かな家庭生活を営むための学習を行っていきます。また学級の触れ合いから連帯を深め望ましい地域づくりを図っていきます。</p> <p>せせらぎ大学事業 高齢者が健康的で生きがいのある生活を目指し、社会的能力を高めるため、趣味、教育、レクリエーション等に関する学習を行っていきます。</p> <p>ふるさと学講座 町民の「ふるさと」に対する理解と郷土愛を深め、地域を大切にする機運の醸成を目的とし、郷土や行政に関する学習を推進します。</p> <p>放課後子ども教室 子どもたちが放課後に異年齢の仲間と安全かつ安心して学習や体験活動、様々な遊びなどを通して交流を図れる居場所づくりを実施する。</p> <p>親の学習・親になるための学習 子育て中の親を対象とした、親が親としての力をつけるための「親の学習」と、近い将来親となる中学生を対象とした「親になるための学習」を実施し、家庭教育の更なる充実を図る。</p> <p>子ども大学ほんじょう 地域の大学や企業等と連携して、子どもの学ぶ力や生きる力の向上を目指しながら、子どもたちの知的好奇心を刺激する学習機会の提供を目的に実施する。</p>	②概ね順調	②概ね順調	
	17-2	教育環境の整備(総合戦略基本目標4-3)	生涯学習課	生涯学習施設管理・運営事業	<p>公民館工事・修繕 ・工事請負費: 9,393,780円 ・修繕料金: 1,961,850円</p>	<p>・上里町公民館は、各小学校区域に地区公民館が配置されており、また、災害避難場所としても指定されている公民館を、適性に管理・運営を行っていきます。</p>	②概ね順調	<p>施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。</p>	

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
①	17-1	公民館事業参加者数	10,000人	9,362人	10,000人	10,003人	10,000人	9,118人	10,000人	926人	③未達成(70%未満)	
②	17-1	ふるさと学の受講者数	累計450人	—	累計225人	累計270人	累計300人	累計343人	累計375人	累計438人	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和2~6年度の5年間合計 2,100人

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
17. 生涯学習の充実	17-3	図書館の充実	生涯学習課	図書館管理・運営事業 (図書等の収集、貸出、調査相談、イベント開催等)	指定管理者による管理運営を行った。主要業務である資料(図書・雑誌等)の選定・購入、資料(図書・雑誌等)の貸出業務、調査相談業務や各種事業を実施した。	引き続き、指定管理による管理運営を行う。主要業務である資料(図書・雑誌等)の選定・購入、資料(図書・雑誌等)の貸出業務、調査相談業務や各種事業を実施する。	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標の達成には至っていない。生活スタイルの変化に応じた図書館の運営方法についても検討すること。	
				読書活動推進事業	自主事業は、小学生を対象とした読書マラソンや、図書館を使った調べる学習コンクールを開催した。その他、大人のための映画会や小中学校図書室の環境整備等を行った。 また、新型コロナウイルス感染症対策として自主事業の中止や延期等を行った。	自主事業は、小学生を対象とした読書マラソンや、図書館を使った調べる学習コンクールその他、大人のための映画会や小中学校図書室の環境整備等を行う。 また、新型コロナウイルス感染症対策を引き続き行う。			
	17-4	歴史・文化の保全と活用	郷土資料館	郷土資料館・出土文化財管理センター運営事業(特別展示、歴史講座・歴史教室、夏休み体験学習等)	コロナ対策として、施設の入場制限や、講座の人数制限などを実施したため、十分な活用ができなかった。	コロナ対策に留意しながら、特別展示、歴史講座・歴史教室、夏休み体験学習等を実施し、歴史・文化資源の発掘・活用を実施する。	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標の達成には至っていないが、各種取組や事業の継続はされていたことから評価を概ね順調とする。今後、コロナ禍にあっても、町の歴史や郷土に触れる機会が失われることのないよう、事業実施の方法については調査研究すること。	
				町指定無形文化財への助成					
				歴史・文化資源の発掘・活用					
	17-5	文化・芸術の振興	生涯学習課	芸術鑑賞事業	自主事業としてコンサート等4事業(参加総人数48人)、他、例年行っている学級講座は全て中止。	令和3年度にはワープ上里の大規模改修が予定されているため、ホールを使用した事業が行えない。アウトリーチ事業を積極的にを行い、施設の外での文化活動を積極的に行う。	③やや不調	新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標の達成には至っていない。また、新型コロナウイルス感染症による影響が収まった場合の事業再開に向け準備を進める	
文化団体への支援				上里町文化協会加盟団体数 展示部門:13団体 芸能部門:12団体 合計:25団体	社会教育団体の育成として、上里町文化協会の運営支援を行っていきます。				
				文化祭事業	文化祭来場者数 中止 展示部門:0人 芸能部門:0人 合計:0人		施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
					③	17-3	年間図書貸出冊数	200,000点	198,177点	176,195点	162,327点	
④	17-4	歴史・文化の保全・活用の満足度	30%	21.1%	23.0%	アンケート未実施	26.0%	14.2%	27.0%	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠:まちづくりアンケート R3はアンケート実施により実績値ありとなる。
⑤	17-4	郷土資料館利用者数	8,000人	6,456人	5,500人	4,780人	6,000人	5,176人	7,100人	3,095人	③未達成 (70%未満)	施設見学・講座・レファレンスなどの確認できる総数
⑥	17-5	文化協会加盟者数	600人	579人	600人	528人	600人	520人	600人	450人	②ほぼ達成 (70%以上 100%未満)	
⑦	17-5	文化祭来場者数	3,000人	2,787人	3,000人	3,121人	3,000人	2,354人	3,000人		新型コロナ ウイルス感染症 拡大防止のため 開催中止	実績値なし

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念4 人が輝くまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
18. 生涯スポーツの振興	18-1	スポーツ・レクリエーション活動の促進(総合戦略基本目標4-2)	生涯学習課	スポーツ教室・イベントの開催・開催支援	②概ね順調 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、マラソン大会や体育祭、ハイキング教室などが中止になってしまいましたが、その他の事業として、元旦歩け走ろう会はせしめーなして開催し、多くの方が参加された。	魅力ある事業・イベントの開催、こむぎっち体操を中心とした軽スポーツの周知。指導者への研修や競技スポーツに対する補助なども引き続き行っていく。	②概ね順調	委員会評価	委員会意見 参集するイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により実施がされなかったが、スポーツ団体に対し支援を行うなど、事業再開に向けた前向きな取り組みもしている。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				「こむぎっち体操」の普及					
				スポーツ団体・指導者の育成					
				競技スポーツの振興					
	18-2	スポーツ・レクリエーション環境の整備	生涯学習課	スポーツ施設の補修・改築(夜間照明等)	②概ね順調 平成30年度に町民体育館の改修工事(天板撤去・照明LED化、床改修)を実施。令和元年度には上里中学校夜間照明にLED照明を設置。社会体育施設や都市公園施設、学校体育施設についても、スポ少や体協、地域住民の方々が積極的に利用された。ウォーキングコースについては、各種事業での活用はコロナ禍であったため活用がなかったが、地域住民に利用いただけた。	体育施設・ウォーキングコース等のさらなる利用促進のため、施設修繕や整備を行っていく	②概ね順調	委員会評価	委員会意見 施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				スポーツ施設の運営管理					
				学校体育館・校庭の地域開放					
				こむぎっちウォーキングコースの設置					

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
					①	18-1	週に1回以上、スポーツ活動を行う割合	70%	65%	—	平成32年度に行うまちづくりアンケートにて検証	
②	18-1	こむぎっち体操を実施した事業所数	12か所	3か所(平成26年度)	8か所	6か所	10か所	7か所	12か所	7か所	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標を変更 目標値:こむぎっち ちよつら健康体操の参加者数 432人
③	18-2	ウォーキングコースの設置	4コース	0コース	4コース	6コース	4コース	6コース	6コース	6コース	①大きく達成(100%以上)	—

基本理念5. みんなで支えあうまち

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念5 みんなで支えあうまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価							
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見						
19. 住民自治の振興	19-1	地域活動の活性化	総務課	行事公演事業	①順調	区長会、コミュニティ協議会といった主団体への協力・連携のほか、地域の集会所・公会堂の外トイレやエアコン、掲示板設置など、さまざまな支援・補助を行っている。	引き続き、各行政区をはじめとする地域コミュニティが育つよう、町としての支援を行っている。	①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。						
				行政区運営・コミュニティ協議会運営支援事業											
				コミュニティ活動事業											
				NPO法人への支援(法人町民税・固定資産税・軽自動車税の減免)											
	19-2	広報・広聴の充実	総務課	広報かみさとの発行	②概ね順調	「広報かみさと」は、年間をとおして特集記事を掲載するなど紙面の充実を図った。	より読んでもらえる「広報かみさと」を目指して、更なる充実を図っていく。	②概ね順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。						
				電子媒体による広報の推進											
	19-2	広報・広聴の充実	総務課	[再掲]シティブロモーションの推進	②概ね順調	ホームページやフェイスブックは各課で情報発信できるが、さらに有益な情報をわかりやすく伝えていけるようサイトを整理していきたい。新たな広報基盤として、令和3年4月1日からLINEの運用を開始するため公式LINEアカウントを取得した。	ホームページは、必要な情報が検索しやすいサイトに整理していく。また、YouTubeサイト、デジタルサイネージ、AIチャットなどのデジタル広報基盤の可能性を検討し、コンテンツの充実を図る。	②概ね順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。						
				生涯学習課						上里町こむぎっちカレンダーの作成	①順調	町関係各課や関係機関と調整し、町の行事予定や暮らしに役立つ情報を中心に作成することができた。	引き続き町関係各課や関係機関と調整し、町の行事予定や暮らしに役立つ情報を中心に作成する。	①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				総合政策課						パブリックコメントの推進	②概ね順調	7つの計画についてパブリックコメント募集を行い合計12件の意見が寄せられ、計画策定における参考意見とした。意見募集について広報誌・ホームページに掲載し、計画概要の掲載など意見が行いやすくなるよう工夫をした。	各種政策に対する町民の意見の反映が十分になされるよう、パブリックコメント制度についての周知を積極的に行う。	②概ね順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				生涯学習課						上里町こむぎっちカレンダーの作成	①順調	町関係各課や関係機関と調整し、町の行事予定や暮らしに役立つ情報を中心に作成することができた。	引き続き町関係各課や関係機関と調整し、町の行事予定や暮らしに役立つ情報を中心に作成する。	①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
					①	19-1	積極的に近所づきあいや地域活動に参加している人の割合	50%	42.0%	—	アンケート未実施	
②	19-2	パブリックコメント募集案件の平均意見人数	5人	—	1人(累計3人)	2人(1人と1団体/1計画)(累計2人)	1人(累計4人)	1人(5人/5計画)(累計3人)	1人(累計5人)	0.85人(6人/7計画)(累計3.85人)	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	—

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
19. 住民自治の振興	19-3	人権啓発・教育の推進	生涯学習課	人権啓発・教育事業	①順調	あらゆる人権問題を取り上げる「上里町人権講演会」は中止となったが、「人権サポーター養成講座」や、各小中学校で実施する「子どもの人権研修会」については、一部中止となったが、開催することができた。	引き続きあらゆる人権問題を取り上げる「上里町人権講演会」や「人権サポーター養成講座」、各小中学校で実施する「子どもの人権研修会」を実施する。	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値の達成に至らなかったが、施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				人権を大切にす会の育成		上里町人権を大切にす会は、生涯学習課が事務局となり育成に努める。			
				子育て共生課		相談事業(法律相談、人権相談、心配ごと相談等)	③やや不調		
	19-4	男女共同参画の推進	子育て共生課	男女共同参画推進センターの運営	③やや不調	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の開催が困難であった。	第3次かみさと男女共同参画推進プランに基づく事業をおこなう。	③やや不調	相談事業については、対面方式以外の実施について検討し、継続した相談事業が実施できるようにすること。講演会等の実施については、新型コロナウイルス感染症による影響が収まった場合の事業再開に向け準備を進めること。
				女性のための総合相談事業(悩みごと・法律)		相談事業は定期的に行い、相談者が抱える問題の解決を支援した。			
				男女共同参画推進団体の育成		女性会議の事務局となり、活動の支援をおこなった。			
				配偶者等暴力対策の推進		DVIに関するキャンペーンを展開し、意識啓発を図った。			
	19-5	多文化共生の推進	総務課	行政サービスの多言語・多文化対応の推進	②概ね順調	新型コロナウイルスに関する多言語でのチラシや、外国人向け新型コロナウイルス相談ホットライン(電話番号)を町民ホールに設置・掲示しました。また外国人在留支援センター(FRESO)のパナーリンクを外国人住民のため、町のホームページに掲載をした。	国際理解としてJICA(国際協力機構)海外協力隊の任国紹介パネルの活用を計画している。	②概ね順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				多様な多文化共生事業の検討・実施					

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時現況値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
③	19-3	人権サポーター養成講座修了者数	50人	37人	41人	33人	44人	54人	47人	18人	③未達成(70%未満)	—
④	19-4	社会全体において男女の地位が平等だと感じる人の割合	25%	17.8%	—	アンケート未実施	25%(平成33年度)	18.8%	25.00%	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠:まちづくりアンケート R3はアンケート実施により実績値ありとなる。
⑤	19-5	外国人住民と交流している人の割合	15%	5.7%	—	アンケート未実施	15%(平成33年度)	11.9%	15.00%	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠:まちづくりアンケート R3はアンケート実施により実績値ありとなる。

令和2年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念5 みんなで支えあうまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画		総合計画庁内策定委員会の評価		
					自己評価	令和2年度実施計画の評価	令和3年度実施計画	委員会評価	委員会意見
20. 健全な行政運営の推進	20-1	PDCAサイクルによる事業推進	総合政策課	行政評価事業	②概ね順調	令和3年度予算編成方針において、『令和3年度は第5次上里町総合振興計画の効果検証による成果を発揮する年度である』旨及び『令和2年度に実施した取組の検証に基づき、改善による予算編成を行う』旨を通知した。	引き続き、各計画に基づいた事業においてその効果の検証等を踏まえた予算編成事務に取り組んでいく。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				予算編成事務		予算要求時には計画に位置付けのある事業を明確(総振〇〇の記載等)にし、進捗状況や今後の動き等を確認した上で、予算編成事務を行った。			
	20-2	健全で効率的な行政組織づくりの推進	総務課	人事マネジメントの推進(採用・育成計画の推進、定員管理、人事評価、職員提案制度)	②概ね順調	新型コロナウイルスワクチン接種、神保原駅周辺開発の推進、リバーサイドロードの整備等、行政課題の増大に対応するため、令和3年度当初定員を183人としていたが、実績は189名であった。	上里町定員管理計画(R4~R8)を策定し、計画的な採用・定員管理を実施する。広域圏、人づくり連合の研修を引き続き実施し、スキルアップを図る。	②概ね順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				情報化の推進(埼玉県町村会情報システム共同化事業、財務会計・グループウェアシステム事業、市町村電子申請業務事業、個人情報保護、電子自治体推進協議会)		広域圏、人づくり連合の研修、人事評価による職員の意識改革とスキルアップは順調である。また公平な人事評価が行われており、令和2年6月賞与に反映させる予定。	引き続き「埼玉県町村会情報システム共同化推進協議会」に参加し、基幹系業務システムの共同運用と法制度改正に伴うシステム改修に係るコストの低減が図れた。庁内LAN複合機のリースアップに伴う機器更新を実施し、新たに庁舎外施設に複合機を導入し、OA機器の省スペース化、管理の一元化を図った。情報システム整備計画として位置付ける「上里町情報化推進基本計画」を策定した。		
			総務課	税の適正な賦課と徴収	①順調	納税環境の拡充と併せて、文書催告や差押えなどの滞納整理強化の効果もあり、目標値は達成できたが、実績では前年度比-0.19%の98.76%となった。	引き続き、催告の工夫や納税環境の整備を推進する。また、滞納者については、早期の財産調査及び差押等の滞納処分を実施する。	①順調	施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				使用料・手数料の徴収及び見直し		使用料・手数料は適正に徴収している。見直しについては、平成元年度にワーキンググループから検討委員会へ報告をおこなったが、コロナ禍において増額をともなう、条例改正等を進めることはできませんでした。	引き続き、使用料・手数料については適正に徴収していく。また、見直しについては今後のコロナの状況等を鑑み、適切なタイミングで条例改正等ができるよう準備をしている。		
				有料広告事業		有料広告事業では、広報かみさやホームページへのバナー掲載により、企業等より掲載料を得ている。	掲載料を得るため、有料広告事業も引き続き行う。		

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
①		職員待遇・仕事のスピード・開庁時間・手続きに不満を感じている人の割合	ゼロをめざす	7.6%	—	アンケート未実施	ゼロをめざす(平成33年度)	参考値3%(類似アンケートの結果のため)	ゼロをめざす	アンケート未実施	実績値なし	R元実績値の根拠: まちづくりアンケート(4項目平均) R3はアンケート実施により実績値ありとなる。
②		情報資産への驚異的事象の発生件数	0件	1件	0件	0	0件	0件	0件	0件	①大きく達成(100%以上)	

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価と今後の計画		総合計画庁内策定委員会の評価			
					自己評価	令和2年度実施計画の評価		委員会評価	委員会意見	
						令和2年度実施計画	令和3年度実施計画			
20. 健全な行政運営の推進	20-3	健全な財政運営の推進	総合政策課	ふるさと納税の推進	・ふるさと納税の推進 事業者や産業振興課等他課と情報交換をしながら適宜運用改善及び返礼品の充実や寄附件数の増加を図った。新型コロナウイルス感染症による影響は否めないものの、令和元年度とほぼ同水準の寄附実績を達成した。	・ふるさと納税の推進 制度の動向を注視しつつ、引き続きポータルサイトの運用改善や業者訪問等により、返礼品の充実、寄附額・寄附者の増加を目指す。	②概ね順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				財政事情公表事業	・財政事情公表事業 説明資料において町の新規事業や全国的なトレンドを踏まえた内容を具体的に記載し、住民にとってよりわかりやすい資料の公表に努めた。	・財政事情公表事業 引き続き、住民にとってわかりやすい資料の公表に努める。				
				補助金・負担金の整理	・補助金・負担金の整理 慣例にとらわれないゼロベースでの予算査定を行い、一般財源のみで実施する事業の対象・事業費の見直しを行った。	・補助金・負担金の整理 引き続きゼロベースでの査定や事業目的及び事業効果の検証、終期設定の検討を行うなどして整理を行う。				
20. 健全な行政運営の推進	20-3	健全な財政運営の推進	会計課	出納管理事務	会計年度任用職員制度の開始による歳出項目や源泉徴収事務の変更があつたが、各担当課と調整を図りながら、出納事務を行った。	計画的な資金管理と正確な伝票記載により、適正な出納管理事務を行う。	①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				20-4	公共施設の最適化の推進	総合政策課	上里町公共施設等総合管理計画の推進	「上里町公共施設再配置・維持保全計画」に基づき、着実な施設対策事業の実施により適正な公共施設維持管理・更新に努める。	②概ね順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
							老朽化した施設の対応	「上里町公共施設点検マニュアル」を用いた自主点検を実施し、点検結果に基づいて修繕費用の予算要求を行う。		
20. 健全な行政運営の推進	20-5	広域連携の推進	総合政策課	定住自立圏構想の推進	新共生ビジョンに基づき事業を実施した。自転車利活用推進事業では、圏域内周遊サイクルルートマップを作成した。	新たな「本庄地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、各種事業を推進する。	①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				児玉郡市広域市町村圏組合への負担金支出	児玉郡市広域市町村圏組合負担金については継続して支出し、組合事業の安定運営を推進した。	児玉郡市広域市町村圏組合負担金については継続して支出し、組合事業の安定運営を推進する。				
				公の施設相互利用協定事業	公共施設相互利用については、関係市町村と協定に関する事務の見直しを実施した。	公共施設相互利用については、施設の増減や状況に併せて適宜協定を改定する。				
20. 健全な行政運営の推進	20-5	広域連携の推進	学校教育課	高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会への負担金支出	高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会への負担金支出については継続して負担金の支出を行う。		①順調	施策として効果があつた。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				本庄・上里学校給食組合への負担金支出	負担金支出 183,810千円	負担金支出(予定) 168,991千円				

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定現状値	平成30年度		令和元年度		令和2年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
					③	20-3	財政力指数	0.796	0.78	0.79	0.789	
④	20-3	財政調整基金現在高の標準財政規模に対する割合	20.0%	18.70%	16.0%	H30末財調残高 1,028,428千円 /H30標準財政規模 6,028,524千円 =17.06%	16.0%	R1末財調残高 1,011,739千円 /R1標準財政規模 6,012,390千円 =16.83%	16.0%	R2末財調残高 1,438,117千円 /R2標準財政規模 6,259,368千円 =22.98%	①大きく達成(100%以上)	
⑤	20-3	個人住民税現年収納率	98.6%	98.12%	98.5%	98.9%	98.5%	98.95%	98.6%	98.76%	①大きく達成(100%以上)	地方交付税基準財政需要額算定のための標準収納率のクリアをめざす
⑥	20-4	指定管理者制度の導入件数	累計6件以上	3件	累計6以上	累計3件(年0件)	累計6以上	累計3件(年0件)	累計6以上	累計3件(年0件)	③未達成(70%未満)	
⑦	20-5	定住自立圏広域連携事業数	22事業以上	22事業	現状維持	17	現状維持	17	現状維持	17	①大きく達成(100%以上)	上里町予算計上分